



移動式音響反射板

ディーバ、フォルテ、レガシー、トラベルマスター、膨張式反射板

天井音響反射板

クラウド



ディーバ(DIVA) サンケイホールブリーゼ



フォルテ (FORTE)



レガシー (LEGACY)



トラベルマスター (TRAVEL MASTER)



クラウド (CLOUD)



膨張式音響反射板

- 舞台の感動を観客に伝える
- 演奏者が自分の音をゆたかに感じることで演奏のつややかさを増すことができる
- 他の演奏者の音をはっきりと聞くことができ、調和の取れたアンサンブルを作り上げることができる
- 演奏者の姿をはっきりと浮き上がらすことができる

ウェンガーは音楽に関連する様々な製品を 1949 年以来作り続けています。その製品群の一つである音響反射板は、世界各地のオペラハウス、劇場、学校、教会で使われています。

施設の大きさ、使用目的に応じて「ディーバ」、「フォルテ」、「レガシー」、「トラベルマスター」の 4 種類の製品を用意しており、舞台や客席の残響を増加する「クラウド」もあります。

屋外のコンサートに使うことができる「膨張式音響反射板」は、イベントの幅を膨らませてくれます。

ウェンガー移動式音響反射板

移動式反射板仕様

				
シリーズ	Diva®	Forte™	Legacy®	Travelmaster™
用途	舞台上の音をより良くし、客席へのサウンドを改善するため、舞台全面を美しく覆う	経済性を考慮しながら音響性能を改善できるように舞台全体を覆う	わずかな人数であらゆる空間で音響反射板としての性能を発揮する移動型設計	間仕切りとしても使える多くの機能性を備えながら音響反射板として簡単に移動可能
使用場所	中規模、大規模オーディトリウムならびに劇場	小規模、中規模オーディトリウムならびに劇場	多目的施設ならびに小規模劇場	演奏する場所が常に変わるグループ、体育館
ユニット構成	音響壁、天井パネル、圧縮空気移動装置	音響壁、天井パネル	折りたたみ式音響板	ベースパネルとフィルターパネル
寸法	タワー高さ:4.8-8 m 天井板:1.2-3.7 m パネル厚み:38 mm	タワー 高さ:5-6 m 幅:2.4 m	高さ:3-4.6 m 幅:1.8 m 奥行き:1.4 m	ベースパネル: 3.3Hx2.8W m フィルターパネル: 2.9Hx0.94W m
パネル材質	手作り合成材パネル	1"ハニカムコアパネル	合成パネル構造	ABS樹脂パネル
キャスタ/運搬機	舞台を傷つけない圧縮空気移動装置。内蔵レベル調整パッド	舞台を傷つけない内蔵キャスター	頑丈でありながらやわらかい回転キャスター	キャスター無し 別売カート
特徴	全てがアルミニウムでできた軽量構造 アクセスドア、照明器具を取り付け可能	全てがアルミニウムでできた軽量構造 アクセスドア、照明器具を取り付け可能	移動式反射板の中で最大の効果エリア	演奏する場所で一人だけで簡単に設置可能
設置必要事項	独自の圧縮空気移動装置を使って安全かつ簡単に設置可能	2人での設置作業。ハンドルと昇降ユニットを使用して設置。工具を必要としない。	シェルを定位置に上げるのに手動クランクを6回転するだけ。キャノピーは角度調整可能。	脚をベースパネルに取り付け、キャノピーを開いてから決まった場所に動かすだけ。その後フィルターパネルを2枚のベースパネルの間に吊り下げる。
保管	コンパクトに収納。タワーは一緒に重ね合わせ。	タワーは簡単に重ね合わせ。保管場所をとらない。	ユニットは重ね合わせて収納。	脚は取り外し可能。簡単に持ち運び可能。
収納寸法	1番目のタワー:2.5x1.5 m 追加ユニット分としてタワーごとに0.31m必要	1番目のタワー:2.5Wx5-6m 追加ユニットとしてタワーごとに0.38 m必要	1.8Wx2Hx0.9D m	1.8Wx0.74Dx1.2H m
仕上	木製合板仕上、ラミネート貼り付けまたは塗装可能 特注対応可能	ラミネート貼り付けまたは塗装仕上 特注対応可能	オイスターホワイト。 ラミネート貼り付け	オイスターホワイト ABSプラスチック

ウェンガー移動式音響反射板

音響反射板を使って素晴らしい音場の創造:音響エンクロージャー

音響反射板の働きは複雑なもので、ウェンガーが過去数十年にわたって学んできたものの一つでもあります。ステージ全体を覆うディーバ音響反射板は、舞台上の音環境を改善するだけでなくオーデトリウムや劇場全体の音を改善してくれます。実際、音響反射板が無い状態と比較をすると、舞台全体を覆って音響エンクロージャーを作り上げるディーバ並びにフォルテ音響反射板は、演奏者の人数がおおよそ倍になったような音量感を持たせることができます。

座席に座っている観客にとっても、音響反射板があることにより、音量を増加しつつ演奏者の存在感や音色の清涼感も改善してくれます。



ディーバ音響反射板は、後方に行ってしまう音源を反射するので、演奏者は自分の音をもっと正確に聞き取ることができます



音響エンクロージャー内を通過してきた音を反射してかつ拡散させることにより、演奏者間の相互の調和を高めることができます。



指揮者にとって、音響反射板があることでオーケストラ全員からの音をより正確に聞き取ることができるようになります。



音響反射板は、サウンドを聴衆に対して放射します。音響エネルギーが天井裏、カーテン、舞台側面に逃げてしまうのを防ぎます

移動式音響反射板

固定式音響反射板は、舞台上にある吊り下げバトンを専用してしまい、その位置が舞台演出上一番欲しいところにあることが多いものです。

移動式音響反射板はそれを必要とする時に設置をすれば済みますので、舞台上のバトンを自由に使いまわすことができ、舞台演出の妨げになることはありません。

ディーバは、高さ 8 メートルまでの側面並びに後面音響反射板を作ることが可能です。厚さ 38 ミリという音響特性の優れたアルミ製パネルを使い、仕上げ、アクセスドア他お客様のご要望に応じた製品の製造ができます。

フォルテは、高さ 6 メートルまでの側面並びに後面音響反射板を作ることが可能です。30 ミリのアルミ製パネルを使い、アクセスドアの取り付けも可能です。仕上げは多くのラミネート素材から選ぶことができます。

レガシーは、折りたたみ式パネルを昇降する移動式音響反射板です。照明光を反射しないオイスターホワイト仕上げとなっています。キャノピーの角度を調節することで設置する空間に合わせた最良の音響特性を発揮します。トラベルマスターは、ABS 樹脂製のパネルを組み立てる移動式反射板です。キャノピーの調節が可能です。

天井音響反射板の有効性

後方や側面に配置されたタワー音響反射板を使うだけでなく、天井にも音響反射板を取り付けることで演奏者の音響エネルギーが舞台上方に消え去ることを防ぐことができます。

ディーバとフォルテの天井音響反射板には照明器具を取り付けることもできますので、天井反射板を設置することで遮られる照明効果を天井反射板に取り付けた照明器具で対応できますので、演奏者の表情を見栄えよく観客に伝えることができます。ディーバは一列が一体となった天井反射板を使用します。フォルテは分割した天井反射板を連結して使用します。ディーバとフォルテの天井反射板は互換性があります。

レガシーやトラベルマスターでは角度調節できるキャノピーが天井反射板の役割を補填してくれます。バトンの吊り下げ荷重が許すのであればディーバやフォルテの天井反射板を使用することができます。

ウェンガー移動式音響反射板

移動式音響反射板のセッティング

ディーバ、フォルテ、レガシー、トラベルマスター、膨張式すべての移動式音響反射板のセッティングは、わずかな人数で簡単に作業を完了できます。レガシー、トラベルマスターは一人でも機材の移動、設置を行うことができます。

ディーバは、エアキャスターを使用して音響反射板を軽々と設置位置に運んで据付けることができます。

フォルテには基盤にキャスターが取り付けられており、専用Tバーを使って移動することができます。

レガシーはベースパネルに取り付けられたキャスターを使用して移動することができます。

トラベルマスターは専用キャスターを使ってまとめて移動することも可能ですが、手持ちで一枚ずつ簡単に移動することが可能です。

膨張式音響反射板は、電動ポンプを使って膨張と収縮を行うことができます。空気を抜いた膨張式音響反射板は二人で持ち運びをおこなうことが可能です。

移動式音響反射板の収納

ディーバ、フォルテ、レガシー、トラベルマスター、膨張式の全ての移動式音響反射板でコンパクトな収納を考えた設計になっています。舞台全体に展開できる移動式音響反射板をわずかなスペースに収納することが可能です。

ディーバは舞台の仕様に合わせた様々な収納方法を提案することができます。

移動式音響反射板の納入場所

劇場・ホール	大学・専門学校	高校・中学・小学校
サンケイホールブリーゼ		大阪府立池田北高校
石川県立音楽堂	名古屋芸術大学	芝学園高等学校
三重県文化会館(中ホール)	大阪芸術大学	忍野中学校
美浜文化ホール	九州女子短期大学	東京音楽大学附属高校
いせトピア	北翔大学北方圏学術情報センター	大阪教育大学附属中学校
テダコホール	長崎大学	桐光学園
浮舟文化会館	九州共立大学	アメリカンスクール
グリーンドーム前橋	ノートルダム女子大学	一迫小学校
四日市ドーム	他多数	三木学園
他日本国内 100 件	Ball State University	他多数
Lyric Opera House	Missouri State University	Brenham High School
San Francisco Opera House	Rose State College	Hurricane High School
Tennessee Theater	Moorpark College	Santa Monica High School
Umea Theater, Sweden		Temps High School

Diva Acoustical Shell

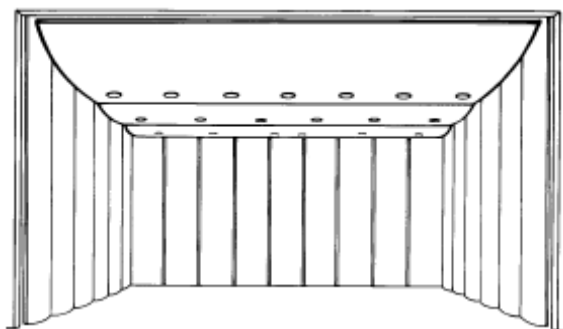
ディーバ移動式音響反射板



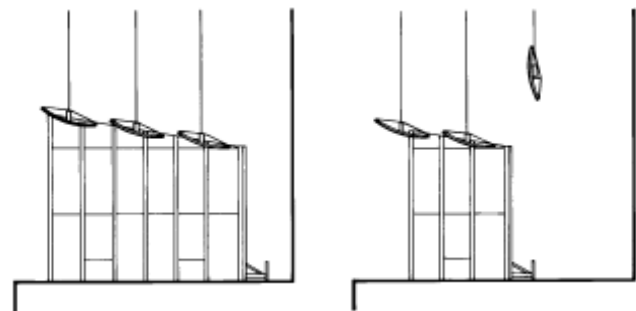


2008年10月ディーバ移動式反射板を導入した「サンケイホールブリーゼ」が大阪にオープンしました。

従来の固定式反射板に勝るとも劣らない音響効果を醸し出しています。



前面



側面

左側はフル実装、右側は縮小実装

- 移動可能なタワー音響反射板と天井音響反射板を使って舞台全体を囲い込むことができます。
- エアー浮揚式キャスターを使って簡単にタワー音響反射板を移動することができます。
- タワー音響反射板はバックステージに、吊り下げられている天井音響反射板は舞台上方に収納することができます。
- タワー音響反射板と天井音響反射板は、複合材を使った強靱な皮膜が施されたハニカムコアのパネルで作られています。
- 複合パネルの強靱な皮膜表面は、6.4 ミリ厚の硬い木でできた積層合板で両面に張られています。または 4.8 ミリ厚の塗装仕上げにすることができます。
- タワー音響反射板と天井音響反射板のフレームはアルミニウムでできています。
- ドア、ウィングそして天井パネルに使っている蝶番は、連続して滑らかで静かな動作ができるように自動的に油が注入されるベアリング

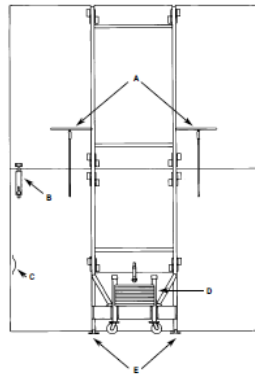


を使っています。

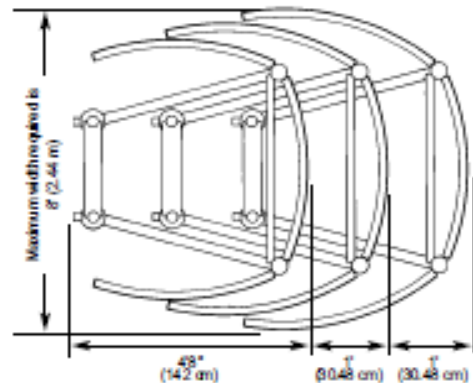
- タワー音響反射板と天井音響反射板の仕上げは、お客様の要望でいかようにも対応できます。ニスを塗った硬い木でできた合板、塗装色の選択、ラミネートといった選択が可能です。(パネル並びに色見本を用意しております。)
- タワー音響反射板のパネル間で起こる照明のはね返りを防ぐ処理が、多くのやり方でシェルの評価を高める仕上げとなります。

タワー音響反射板

- タワー音響反射板のパネルは、1.52メートル、3.05メートルまたは6.1メートル径の曲面となっています。
- それぞれのタワー音響反射板は、センターパネルと2枚の開き角度調節可能なウイングパネルで構成されています。
- それぞれのタワー音響反射板は、必要な位置でドアとして使うことができる下部ウイングドアを備えています。
- コンサート用ピアノのような大きな楽器用に2倍のドアを作ることができます。
- タワー音響反射板とベースのフレームは、アルミニウム製です。
- 対角線上に配置された支柱が重量をいくつかのエリアに分散しています。
- それぞれのタワー音響反射板には安定性を計るカウンターウェイトをベースパネルに取り付けています。
- 入れ子になったウイング止めを使って、演奏時と収納時にタワーのウイングを固定します。
- それぞれのタワー音響反射板はレベル調整をする機構を備えています
- タワー音響反射板はもう一つのタワー音響反射板を最小限の収納スペースになるよう納めてくれます。



タワーの背面



タワーの収納



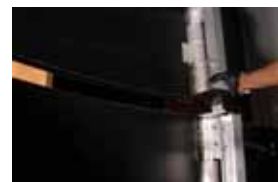
舞台内から見たドア



外側から見たドア



パネル断面

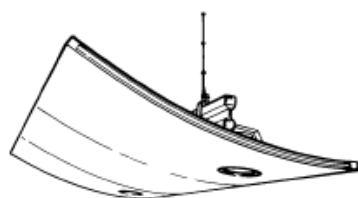


ウイングの蝶番

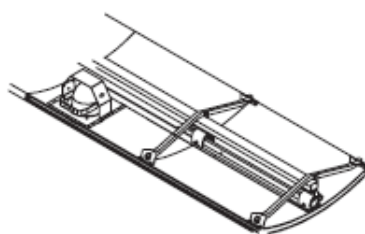
Diva Acoustical Shell

天井音響反射板

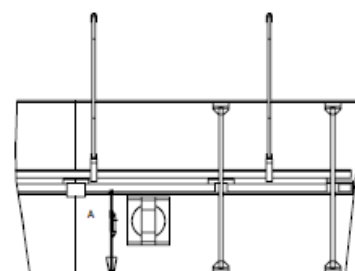
- 天井音響反射板は、1.52メートル、3.05メートルまたは6.1メートル径の曲面となっています。多彩な単板またはタワー音響反射板の曲線にあわせた3枚の組み合わせが可能です。
- 天井音響反射板は、劇場の吊り下げワイヤからバトンを使わずに直接吊り下げることができます。
- 天井音響反射板は、垂直方向に収納可能です。演奏時の設置角度をプリセットしておくことができます。
- 天井音響反射板は、それぞれの列の設定に二人以上の人間を必要としないようになっています。
- 天井音響反射板の特徴は、全体がアルミニウム合金製のトラスであることで、パイプバトンを使わずに舞台吊り金具から吊り下げることができることです。
- 天井音響反射板のトラスは、一体型の配電管が取り付けられていることで、個別のプラグを必要としません。
- 天井音響反射板に取り付ける照明器具は別売です。様々な照明器具を使うことができます。
- 天井音響反射板の背面は黒く塗装されています。



パイプバトンを必要としない吊り下げ機構



照明器具を取り付け可能



天井パネルは簡単に収納形状に変更可能



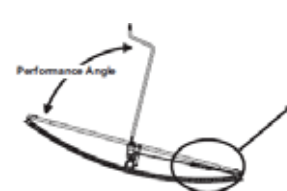
天井反射板を下ろす



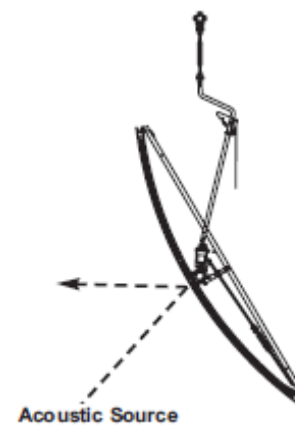
天井反射板収納状態



照明器具(別売)



角度調整



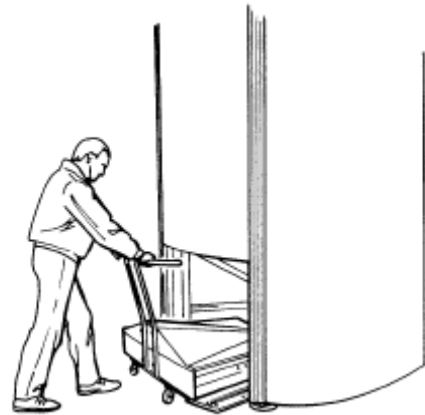
天井音響反射板の音源位置による角度調整

エア-浮揚運搬装置

- エア-浮揚運搬装置を使えば、簡単にタワー音響反射板を持ち上げて運ぶことができます。
- エア-を使ったクッションによりタワー音響反射板の重量を運ぶことができ舞台床面を傷つけることはありません。
- タワー音響反射板を簡単にどのような方向にも動かすことができ、設置場所に置くことができます。
- 110 ボルト、15 アンペアの電源。



運搬用エア-浮揚運搬装置



エア-浮揚運搬装置を使ってタワーを移動



タワーパネルの取り外し



エア-運搬機での移動



エア-運搬機



カウンターウェイト



タワー高さの微調整



ウィングの角度調整

納入例

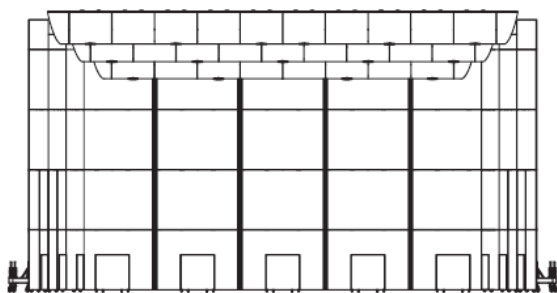


Forte Acoustical Shell

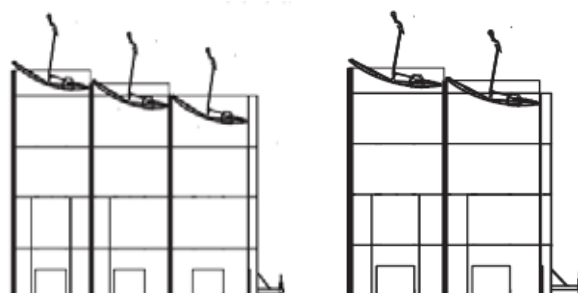
フォルテ移動式音響反射板



レガシー移動式音響反射板に音響特性が優れ、照明器具を組み込むように作られた天井音響反射板を備えた機種がフォルテです。舞台全体に音響エンクロージャを作ることができます。



前面



側面

タワーパネルを全て使用

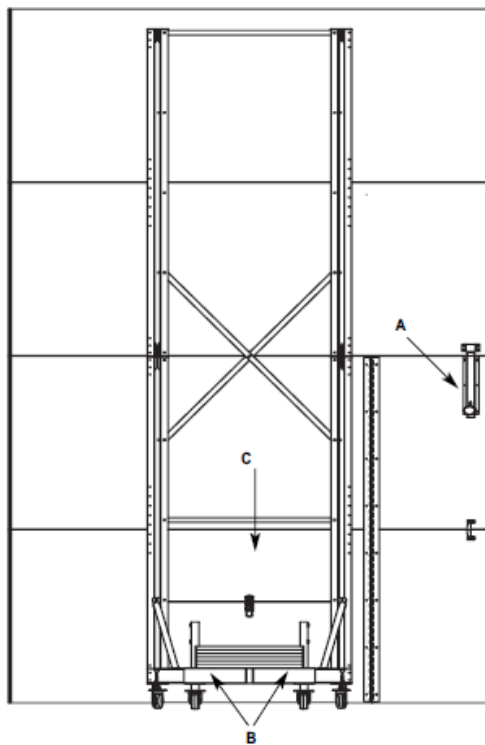
タワーパネルを縮小使用

- タワー音響反射板と天井音響反射板を使うことで、舞台全体を覆う音響エンクロージャが出来上がります。
- タワー音響反射板と天井音響反射板は様々な仕上げにできます。選択肢の一つは、塗装仕上げにするかラミネート張りにするかということです。
- タワー音響反射板は、前面の高さ調節ができる舞台面を傷つけない101ミリのキャスターで動かすことができます。
- タワー音響反射板はバックステージに重ねて収納できます。天井音響反射板は、吊り下げ金具で吊り上げ、舞台上面に収納することができます。
- タワー音響反射板と天井音響反射板は複合材できており、強靱な皮膜で覆われたパネルです。
- 複合材で作られたパネルの強靱な皮膜面は、3ミリ厚になっており両面に貼られています。塗装仕様の製品は、塗装仕上げとなっています。
- タワー音響反射板と天井音響反射板のフレームは鋼鉄製です。
- 天井音響反射板の蝶番は、滑らかで静かな動作が維持できるように自動給油式のベアリングを使っています。
- 天井音響反射板の間にあるタワー音響反射板とフィラー音響反射板に施された処理が、音響反射板間の照り返しがバックステージに行くのを防いでくれます。

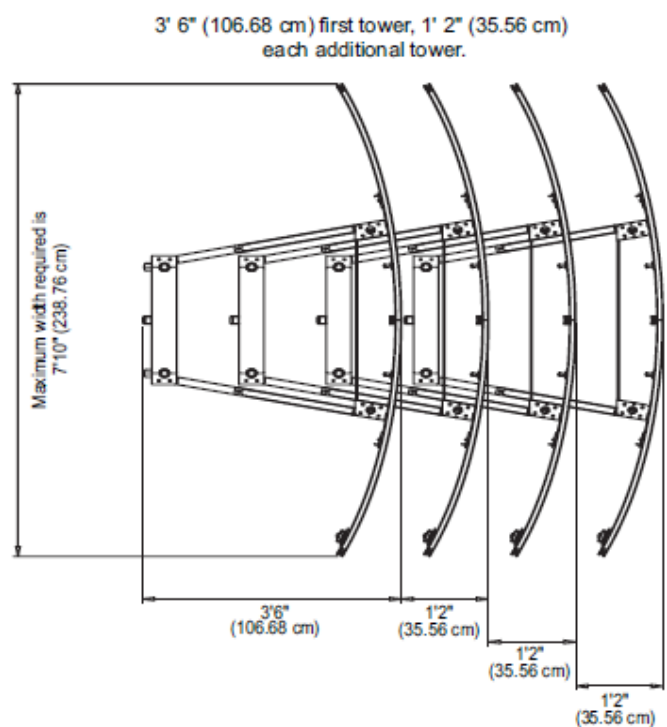
Forte Acoustical Shell

タワー音響反射板

- 全てのタワー音響反射板は、3.05メートル径の曲面となっています。パネルは25.4ミリ厚のハニカムできています。
- タワー音響反射板の高さは、4.88メートルから6.1メートルまでの間で約30センチごとに変えることができます。タワー音響反射板の幅は2,438ミリです(明かりをもれなくするスペーサ - 込み、収納幅は2,387ミリです)。
- アクセスタアは左右どちら側にも用意することができます。
- タワー音響反射板とベースは、黒色のパウダーコート仕上げがなされた鋼鉄で作られています。
- それぞれのタワー音響反射板は、安全を確保するためカウンターウェイトをベースに搭載しています。
- それぞれのタワー音響反射板は、高さの微調整ができる機構をつけています。
- タワー音響反射板は、収納スペースが最小限となるように音響反射板同士を重ね合わせるすることができます。
- 音響反射板の表面仕上げは、塗装硬板がいくつかのラミネート仕上げを選択することができます。
- タワー音響反射板は、ベースフレームに差し込むハンドルで動かすことができます。



タワー音響反射板の背面



タワー音響反射板の収納



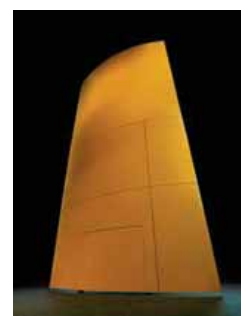
アクセスタア



収納準備



コンパクトな収納

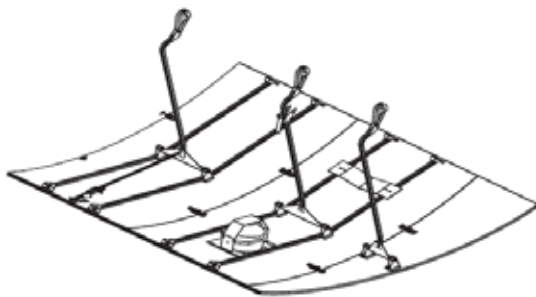


タワー音響反射板

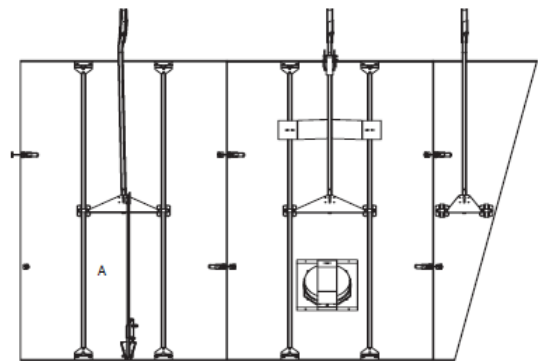
Forte Acoustical Shell

天井音響反射板

- 天井音響反射板は、3.05メートル径の曲面を持っています。
- 天井反射板を垂直に立てて収納できます。演奏時に行った角度調整のまま回転できます。
- 天井音響反射板はバランスよくできていますので、設置作業をするのに二人以上必要としません。
- 天井音響反射板は、全体が鋼鉄製のフレームでできており、50.8ミリ(2インチ)径のパイプバトンを使って吊り下げます。
- 天井音響反射板に照明器具を取り付けることができますが、別売です。
- 天井音響反射板の側面の厚みは 343 ミリから 384 ミリになります。
- 天井音響反射板の裏側仕上げは黒色塗装です。



照明器具を取り付けた天井音響反射板



天井音響反射板裏面



天井音響反射板の全体像



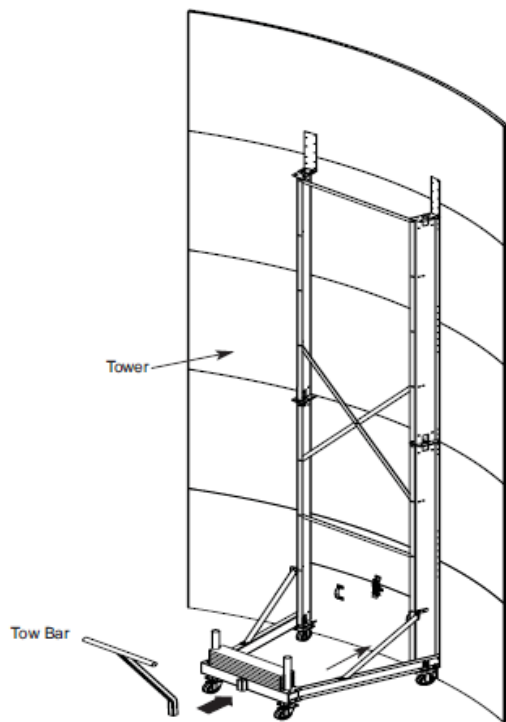
天井音響反射板の裏側



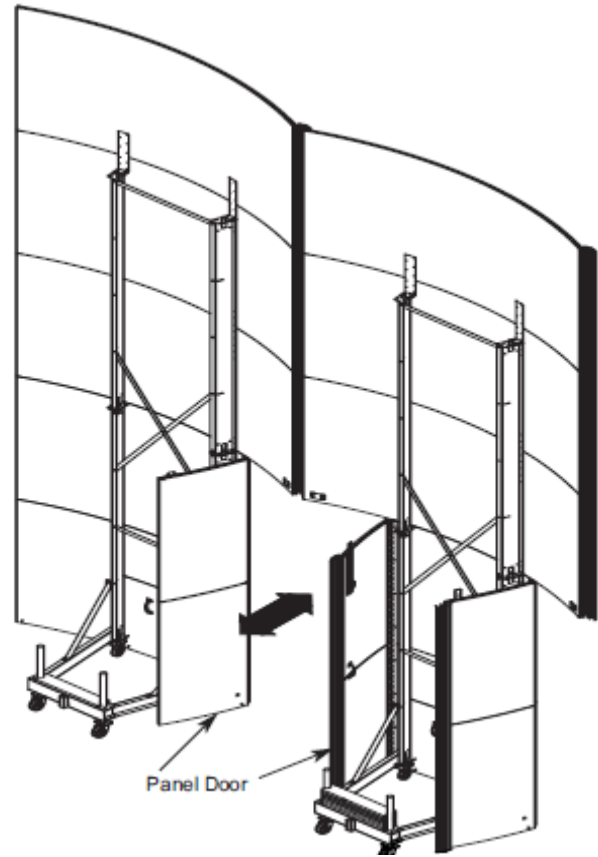
収納に備えて垂直方向に

Forte Acoustical Shell

タワー音響反射板の移動



- タワー反射板に収納されている専用バーを使って移動します



アクセスドアの取り付け



タワー音響反射板の移動

パネル色見本を用意しております。

Legacy Acoustical Shell

レガシー移動式音響反射板



日本で最大の納入実績を誇るレガシー・シリーズ移動式音響反射板は、市民会館の中/小ホール、コンベンションセンター、学校の講堂といった音楽イベントは多くはないが、音響反射板を使って音響効果を向上したいという施設に数多く納入されています。

華やかな舞台に向けて懸命な練習を重ねるとき、音響反射板を使うとお互いのパートをもっとよく聞き取ることができるようになります。

レガシー移動式反射板は、後面反射板をハンドルで上昇させキャノピーを持ち上げ、フットパネルを降ろすだけでセッティングが可能です。専任の担当者がいなくてもパネル後面の説明書に従って一人でセッティングが可能です。



設置位置にレガシーを移動し、フットパネルを引き出してキャノピーの角度を調整

付属の調整棒を使って音が一番良くなる角度にキャノピーを設定、45,60,75,90 度に設定可能

昇降機構のハンドルを使ってアッパーパネルを定位置に設置

Legacy Acoustical Shell

レガシー移動式反射板の配列と必要枚数

- コーラス

配列パターン	枚数	幅 m	演奏者数 人
	3	5.5	36-48
	4	7.3	48-64
	5	9.2	60-80
	6	11.0	72-96
	7	12.8	84-112

- ブラスバンド、オーケストラ

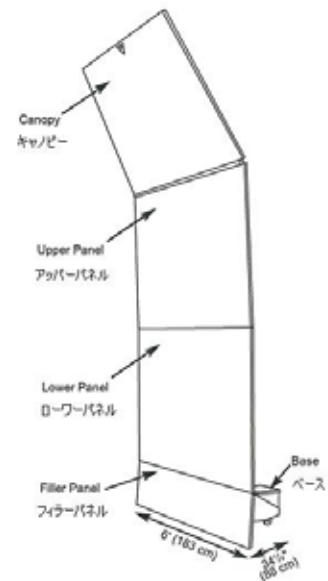
使用枚数			幅 m			奥行き m	演奏者数 人
合計	正面	側面	合計	正面	側面		
12	6	3x2	18.8	11.0	3.9	3.9	60-75
13	7	3x2	20.6	12.8	3.9	3.9	85-96
16	8	4x2	25.0	14.6	5.2	5.2	100-110



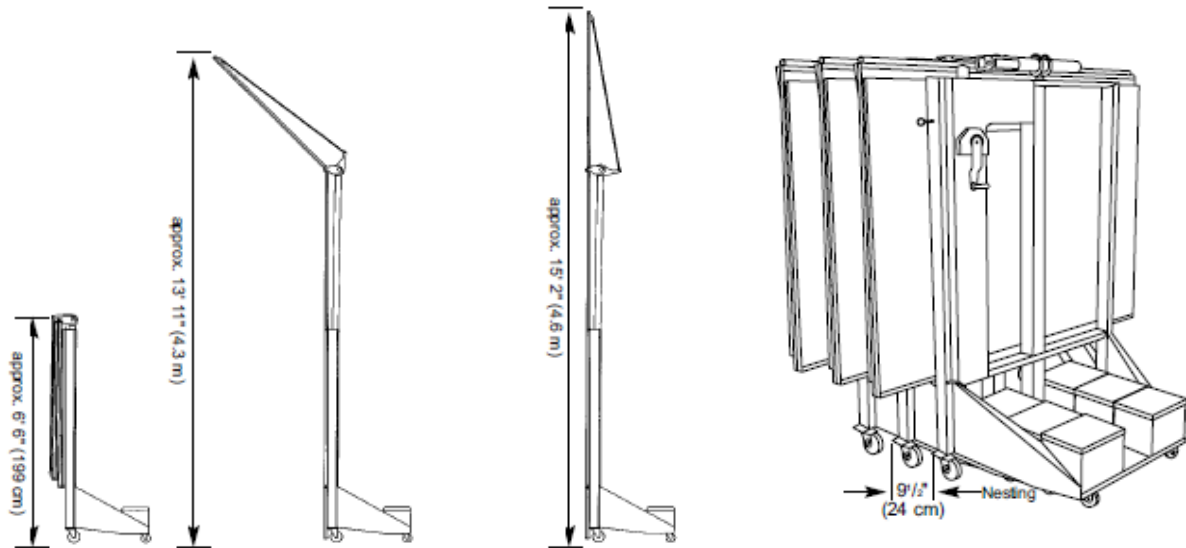


レガシーの設置イメージ

- 台形と長方形の二種類のキャノピー
広い舞台で使う場合には長方形のキャノピー (186A301) を舞台後面に配置し、側面には台形のキャノピー (186A300) を配置して曲面を持たせて配置する。
小編成のコーラスやオーケストラで使う場合には、台形のキャノピーを曲面配置する。
- キャノピーの押し上げ棒(186A302)が必要。レガシー移動式反射板5枚につき1本付属。
- 反射板裏側に張られている説明書に従うだけで簡単にセッティングが完了。
- 台座に取り付けられた自在キャスターで簡単な移動が可能。
- ハンドルを回し、押し上げ棒を使って一人で簡単にセッティング。
- ハンドルを6回回すだけでキャノピーを最適位置に上昇。
- 会場の音響条件、演奏者の希望により、キャノピーの設定角度を4段階(45,60,75,90°)に設定可能。
- 反射板を折り畳めば、標準的なドアを通過可能。
- 移動式反射板を重ねて収納可能。
- パネル仕上げは照明光を反射しないオイスターホワイトとなっており華やかさを演出。
- ベースフレームは頑丈な鋼で、パネルフレームは強度を確保したアルミで製造。
- 反射パネルは変形にくい音響反射性に優れた表面材でハニカムコアを包み込んだ合成構造。
- パネル外周は、周辺の強度が上がる滑らかで美観に優れたアルミ引き抜き材を使用。
- 演奏者が危険にさらされるのを防止し、前面からの見栄えを良くするため、反射板が転倒しないようにバランスを確保するカウンターウェイトはユニットの後方に取り付け。

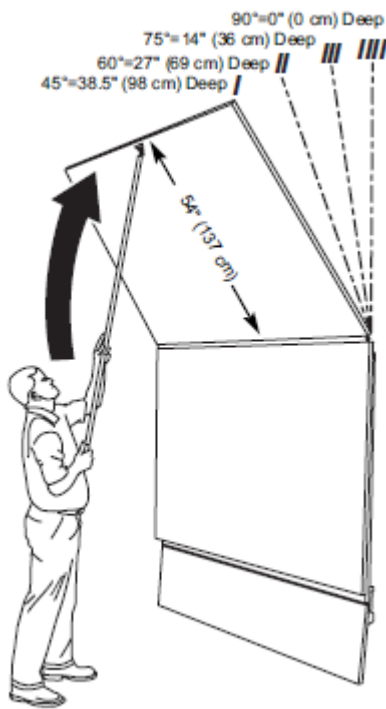


Legacy Acoustical Shell



側面寸法(高さの比較)

重ねて収納



キャノピーの押し上げと角度調整



アッパーパネルとキャノピーの昇降

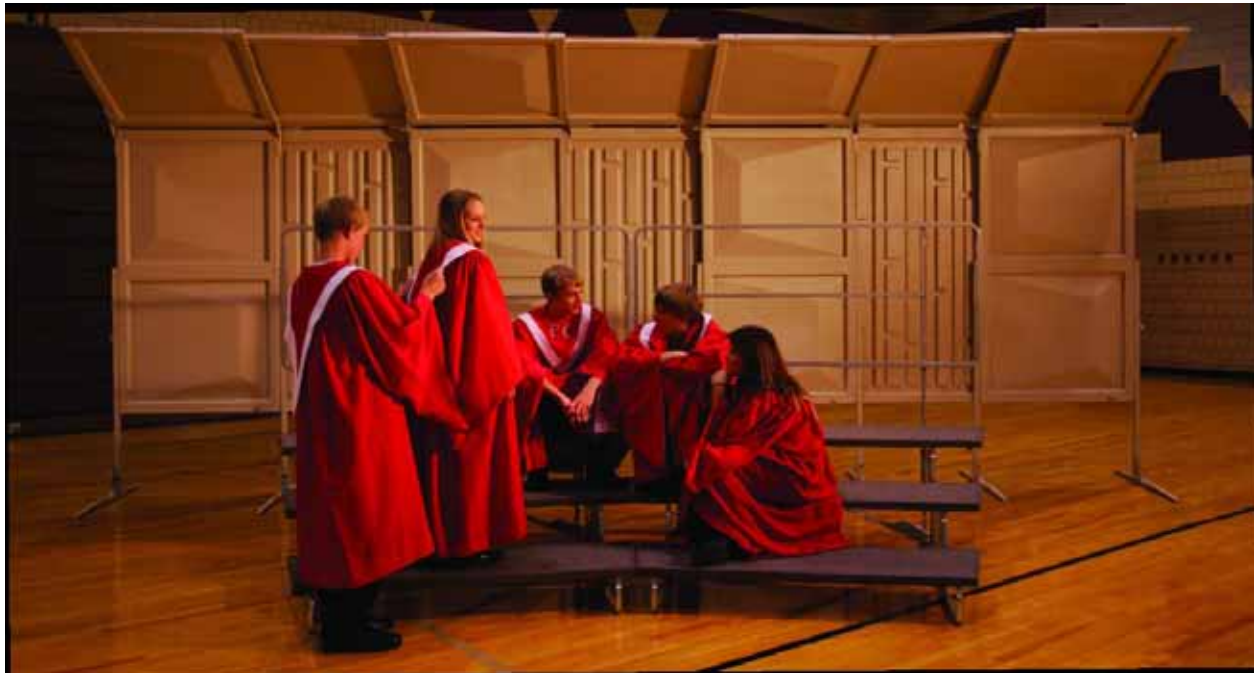
● 仕様

高さ(45° 設定時)	4,244 mm	折畳み時奥行き	870 mm
最大高	4,626 mm	重ね合せ奥行き	241 mm
折畳み時高さ	1,982 mm	パネル重量	6.6 kg/m ²
幅	1,830 mm	ユニット重量	194 kg
キャノピー奥行き(45°)	965 mm		

仕様は予告なく変更することがあります

Travelmaster Portable Acoustical Shell

トラベルマスター移動式音響反射板



移動先でも最適な音響空間を演出



ツアー先やイベントスペースで演奏をする場合必ずしも音響効果の良い条件で演奏できるとは限りません。せっかくの名演奏も音響効果の悪い場所では色あせてしまいます。

そのような時、トラベルマスター移動式音響反射板があれば最適な音響環境を作り出すことができます。

音響反射板の効果は、ステージ上においては演奏者が自分の音を正確に聞き取ることに役立つのと同時に、他の演奏者との音のバランスやタイミングといったアンサンブルに欠かせな

い要素も増強してくれます。

演奏者のみならず、聴取者にもバランスの取れた豊かな音場と臨場感を届けることができます。

トラベルマスター移動式音響反射板は、優れた音響性能を持ちながらも、演奏者一人でも移動や設置が簡単にできる、軽量でコンパクトな運用性にも優れた製品です。

Travelmaster Portable Acoustical Shell

トラベルマスター移動式音響反射板の配列と必要枚数

● コーラス

配列パターン	合計枚数 (枚)	ベースパネル (L015)	フィラーパネル (L035)	設置幅 (m)	演奏者数 (人)
	5	3	2	4.9	36-48
	7	4	3	6.9	48-64
	9	5	4	8.8	60-80
	11	6	5	10.8	72-96
	13	7	6	12.8	24-112

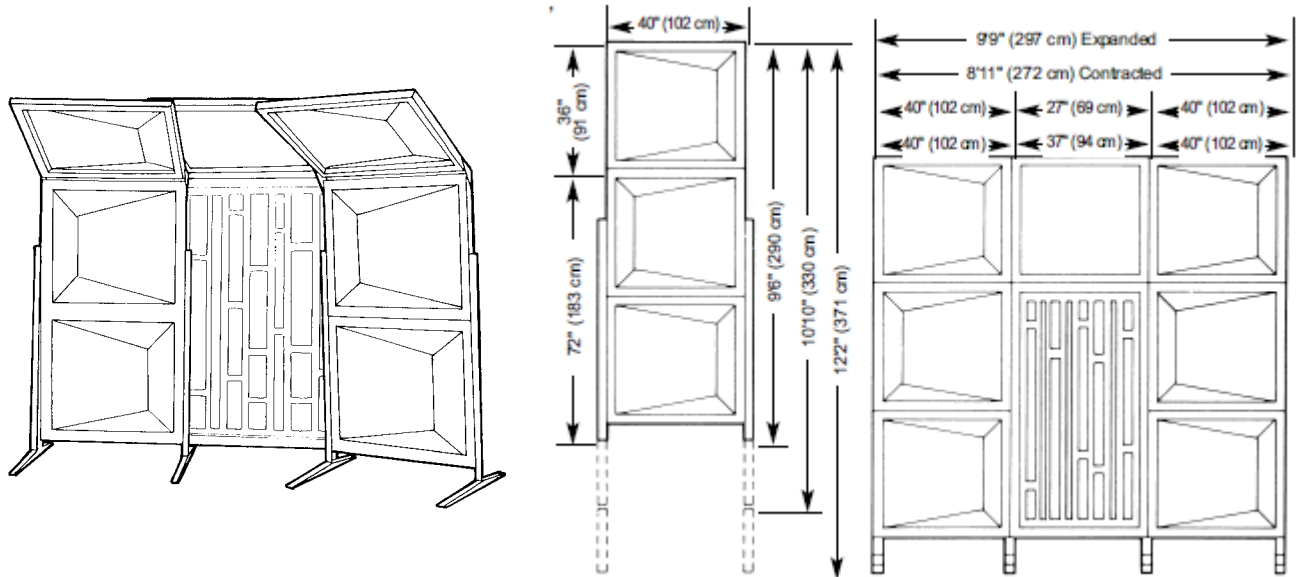
● ブラスバンド、オーケストラ

配列パターン				
合計枚数 (枚)		21	27	29
正面 (枚)	ベースパネル	6	7	8
	フィラーパネル	5	6	7
側面 (枚)	ベースパネル	6	8	8
	フィラーパネル	4	6	6
設置幅 (m)	合計	14.3	17.6	19.6
	正面	10.8	12.8	14.7
	側面	3.5	4.8	4.9
設置奥行き (m)		3.5	4.9	4.9
演奏者数 (人)		60-75	85-96	100-110



Travelmaster Portable Acoustical Shell

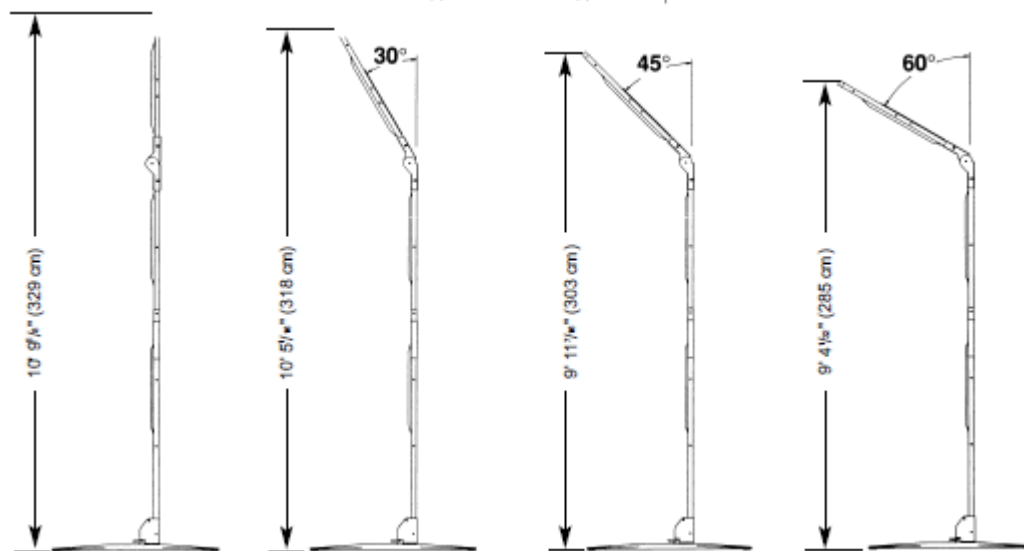
- 反射パネルは、ボーカルや楽器の周波数帯域を反射するように設計されている。
- 反射パネルは、照明を反射しないオイスターカラー(白色)仕上げの頑丈なABSプラスチックで製造されている。
- 反射パネルは、脚がついたベースパネル(L015:39 kg)とそれに引っかけて取り付けるフィラーパネル(L035:9 kg)で構成される。



設置イメージ

寸法

- 反射パネルの高さは、足の調節で(2,897mm,3,304mm,3,711mm)の3段階に変えることができる。
- 音響条件や演目に合わせてキャンピーパネルの角度を調整可能。



キャンピーの角度調整と高さ

- 頑丈でかつ軽量のトラベルマスターは、簡単に組み立てることができコンパクトに収納ができる。移動式反射板として理想的。

Travelmaster Portable Acoustical Shell

- 移動用カートも別売。(5枚のスタンダードパネルと4枚のフィラーパネルそして脚を運搬可能)

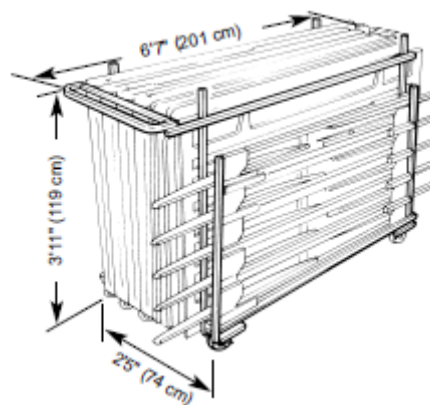
収納カート型番 064A170

重量 34.4 kg(カートのみ)

スタンダードパネルと脚 5枚

収納数

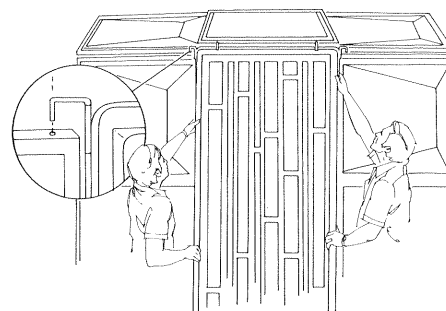
フィラーパネル 4枚



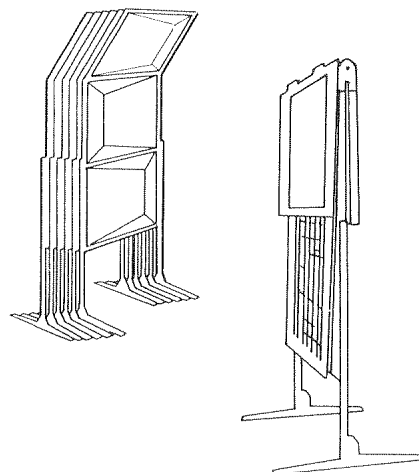
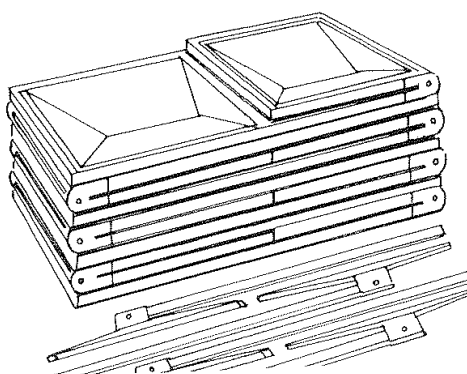
- 特許取得品。



組み立て(前面から)



組み立て(後面から)

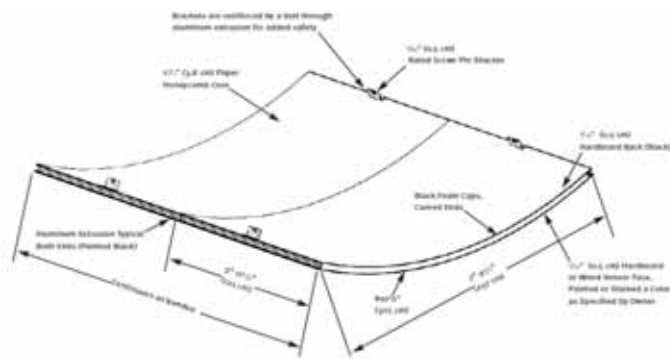


トラベルマスターの収納例

Acoustical CLOUD

クラウド: 座席エリア音響反射板

座席エリアの残響補強に使用します。必要がない場合には取り外しておくことができます。



クラウドの基本寸法(特注製作可能)

1,219x2,438 mm

1,524x2,438 mm

1,829x2,438 mm

2,134x2,438 mm

2,438x2,438 mm

クラウドの単位質量

12.6 kg (1m²あたり)

クラウドの設置に当たっては、経験豊かな音響コンサルタントにご相談ください。

Acoustical Door

防音ドア



- 遮音特性である STC が 50-54 という製品群を用意しております。
- ドア幅が 914,1,067,1,219,1,828 の 4 種類の製品を用意しております。
- 窓付き、小窓付き、大窓付き、窓なし、右開き、左開きといった豊富な製品群です。
- クラス A の防災規格準拠品もあります。

Virtual Acoustic Environments™ (VAE)

残響可変システム

演奏会にそなえた練習を演奏会場の音場に合わせで行うことができます。声量や表現方法の練習をあらかじめ行うことができること、様々な音場の中で表現力を養うことができるという「残響可変システム」は演奏者の必需品となります。

ウェンガー社は、遮音室、遮音ドアといった一体感のある機器の製造をおこなっています。



- 20種類の空間容積の設定
- 9種類の残響パターンの設定: 練習室、バロック、小さなオーデトリウム、大きなオーデトリウム、大きなリサイタルホール、アリーナ、カセドラル、中規模オーデトリウム、中規模リサイタルホール
- 楽器を手放さずにフットスイッチで設定切り替えが可能
- 録音/再生が可能。



世界中で評価の高いレキシコン社のデジタルプロセッサーを使用しています。

ウェンガー社機器のレンタル

下記の会社でウェンガー社機器のレンタルをおこなっておりますのでご利用ください。

会社名	連絡先	レンタル機材
神戸国際ステージサービス(株)	078-752-3890 檜山	トラベルマスター